

ささゆり

With all our hearts

笑顔あふれる夏



総合福祉施設 社会福祉法人 ささゆり会

サンライフ御立
〒670-0072 姫路市御立東5丁目1番1号
TEL.079-291-6666 FAX.079-291-6667
施設長 笹山 博司

サンライフ魚崎
〒658-0083 神戸市東灘区魚崎中町4丁目10番50号
TEL.078-435-6688 FAX.078-435-6689
施設長 佐藤 光子

CONTENTS 目次

笑顔あふれる夏	1
EPA介護福祉士合格者に聞いてみました	2
サンライフ祭り	3
サンライフの思い	4

サンライフの思い



介護職リーダーとして

サンライフ魚崎 特養
リーダー 竹山 昇一

平成二十五年よりサンライフ魚崎に勤めさせて頂き、今年で九年目になります。
入社してからケアハウスにて勤めておりましたが、三年前より特養にてフロアリーダーを務めさせて頂いております。まだまだ未熟な点も多々あるのですが、入居者様、ご家族様、様々な職員の方々に支えて頂きながら、入居者様に安心して穏やかに過ごして頂けるよう日々奮闘しております。
私は入社した当時は介護の知識や技術が全くなく、介護の仕事に対しての不安が多くありましたが、多くの利用者様と関わっていく中で、介護に対する知識や技術が必要と感じる場面が多く、自分なりに必死に知識習得と技術向上に努めて参りました。その中で私自身が介護職として最も印象に残っていることは、対応する職員によって拒否がある利用者様が異性にも拘らず「あなたならいいよ」と私に入浴の介助をさせて頂けたことです。利用者様か

ら自分自身を認めてもらえた嬉しさを今でも覚えています。介護の仕事は介護職、看護職、栄養士、事務所職員、ご家族様等と協力して行う必要があります。利用者様の人生に深く関わらせていただく責任を常に心に持っています。多職種とも連携しつつ、利用者様が利用者様らしく安心して幸せに生活できるように考えています。サンライフ魚崎では足腰頭を鍛えて元気に過ごそうを今年度のスローガンに掲げ、特養でもラジオ体操や近隣への散歩、日光浴を行い活気ある毎日を過ごして頂いています。終末期には少しでも安楽に過ごせるように痛みや不安、ストレスを緩和し、穏やかに最期を迎えられるよう努めています。リーダーとして職員のケアの統一をしつつ、職員個々の長所を活かせるように、日々精進し、入居者様の笑顔を支えにこれからも努めてまいりたいと思っております。

御立トピックス

【サンライフ西庄】全国大会に出場しました!!



私たち『Happy Smileサークル』は、令和4年7月7日アクリエ姫路にてQCサークル全国大会に出場し「グループホーム入居者様の家事支援増加」をテーマに発表しました。職員全員がQC初心者であり、テーマ選定までに時間がかかりました。認知症の進行を穏やかにし今の出来る力を維持するには、職員による働きかけが必要です。まず、「どうして家事支援が必要なのか」を職員に問いかけ、業務に対する意識を変えていきまし

た。そして、全員で取り組むことで入居者様の家事参加量の30%増加の目標達成することができました。
QC活動を通して職員間のコミュニケーションが取りやすくなり、入居者様も役割を見つけて活き活きと家事に参加されている様子を見る事が出来ました。賞を頂く事は出来ませんでした。この経験を業務に生かしていきたいです。



ささゆり会事業報告
サンライフ魚崎 行事報告
〔四月〕なし
〔五月〕なし
技能実習生入社
〔六月〕サンライフ祭り

サンライフ魚崎の寄付・ボランティア
ナルク東神戸 オカリナーアミカ
ワーキングキャッツ
※コロナウイルス感染対策を万全に行い、ボランティア様の受入をさせて頂きました。
令和四年四月～令和四年六月(順不同・敬称略)



2年ぶり! サンライフ祭り

さあ一歩前へ 笑顔で進もうサンライフ祭り

スタート!!

屋台に焼きそば等取りに行きました!

各部署ごとに取りに行きました

この日のメニューはこちら!

各食堂に戻っていただきませう

午後の部

特養

特養・ショートでは魚釣り・射的、輪投げを交代しながら合同で行い、色々な出し物で楽しんで頂きました。そして最後に盆踊りを皆様で踊りました。

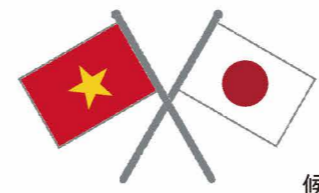
レクリエーション活動で製作した金魚とボールを混ぜ、金魚すくいを行い、数種類のポイをご用意し、それぞれにあったものを使って頂きました。感染予防対策を施し、時間を定めて対戦しました。観賞する方、職員も盛り上がり楽しいひと時でした。

金魚すくいではポイが破けないかとハラハラしながら、皆様いきいきとした表情ですくっておられました。

ケアハウス

グループホームでは出し物におやつ釣りを行いました。好きなおやつを釣り竿で釣り上げて楽しめた後、3時のおやつで皆様で頂きました。

EPA介護福祉士合格者に聞きました



2016年から毎年ベトナムからEPA介護福祉士候補生を受け入れてきました。

3年間介護職として仕事と勉強を両立させ、受験資格を得て試験に挑みました。試験内容は日本人と全く同じものとなります。受験時間は少し長くなりますが、我々日本人と変わらない試験を突破し、晴れて介護福祉士となった6人のEPA生に話を聞いてみました。



1 日本に来たいと思ったきっかけ

テレビで映った日本の有名な観光地を見て日本旅行をしたいと思った事。(ケアハウス勤務:ウエン)
 小さいころから海外で働く事が夢で、学生時代から漫画やアニメをよく見ていて日本文化に興味を持った事。(ケアハウス勤務:フォン)
 日本で働く方がベトナムより高所得で、家族をサポートしたいと思った事。(グループホーム勤務:フォン)

4 介護福祉士を取得するために後輩に伝えたいこと

少しずつ毎日勉強しないとダメです。基本教科書で勉強しますが、仕事中でもいろんなことが学べるので大切にしましょう。(特養勤務:リー)
 勉強は早すぎることはないのです。なるべく1年目から本をじっくり読んだり、問題を解いたり、何回も繰り返す事が大切です。間違った問題を見直し、正しい答えを探すのは記憶に残りやすいのでしっかり覚えられるようになるはずですよ。(ケアハウス勤務:フォン)

2 日本で生活してみても楽しかったこと・辛かったこと

日本人は優しく表情を察して分かりやすく対応してくれ、その優しさに触れたときに楽しい気持ちになりました。日本語で細かい意味を伝えるのが難しく辛かった。(グループホーム勤務:フォン)
 友達と色々なところに旅行に行けてとても楽しかった。来日当初は日本料理が口に合わず辛かった。今も納豆は食べられません(*´艸`)(特養勤務:リー)

5 サンライフ魚崎で働いて思った事

良いスタッフにあえてとても嬉しかった。皆いつも助けてくれて本当にありがたかったです。(ケアハウス勤務:グエット)
 仕事で困った時、先輩が教えてくれたアドバイスもしてくれました。(ケアハウス勤務:ウエン)

3 仕事と勉強の両立をどのように行っていたか

仕事の後や休みの日に時間を決めて計画的に、日本語と介護の勉強両方をコツコツしていました。(ケアハウス勤務:フォン)
 仕事で分からない事や言葉があればメモし、その都度辞書などを用いて理解するように心掛けていた。(グループホーム勤務:フォン)

6 母国に帰ったらやってみようと思う事

日本で身に付けた知識を活かして日本語や介護の関係のある仕事をしようと思います。(特養勤務:リー)
 実家の近くに老人ホームができたので日本で学んだ事を活かして働きたい。(ケアハウス勤務:フォン)
 日本語に関する仕事をしたい。(グループホーム勤務:フォン)

